

労使代表者の参加による合同安全パトロールを実施。

平成 24 年 6 月 25 日（月曜日）午前 10 時から名古屋高裁金沢支部・金沢地家簡裁庁舎新営建築工事現場（金沢市丸の内 7 - 2）において合同安全パトロールを実施しました。

このパトロールは、2 年連続の労働災害の増加を受け、石川労働局と、日本労働組合総連合会石川県連合会、一般社団法人石川県経営者協会が合同で行うもので、トップ三人がそろった初の安全パトロールであり、全国安全週間（7 月 1 日～7 日）を前に、礒部隆文石川労働局長と狩山久弥連合石川会長、菱沼捷二県経営者協会会長ら十人が参加しました。

裁判所の庁舎は平成 25 年 3 月完成予定で、当日は、骨組みが完了し、2 階以上でコンクリート打設作業が行われておりました。工事の元請は（株）鴻池組名古屋支店です。

パトロールでは、元請の担当者から工事概要の説明後、屋外朝礼場所において、日常の点検や熱中症予防策の説明、当日の作業内容等の説明を受けました。



冒頭で挨拶をする礒部局長



工事概況等の説明をする松本所長（鴻池組）

朝礼場において、安全対策の取組状況や熱中症対策、当日の作業内容の説明を受ける

前方左から礒部局長、狩山連合石川会長、菱沼県経営者協会会長。





現場を巡視する礒部局長

説明の後、工事現場を巡回視察し、足場の構造など墜落防止対策、型枠支保工の組立て状況及び作業場所の整理整頓等による安全確保などの確認を行いました。



説明を受ける菱沼県経営者協会会長



パトロール後の講評

礒部局長は「しっかり対策がとられている」と評価しました。

また、講評では「一層の通路の安全確保を」、「毎日状況が変わる建設現場は製造業と違い対策が大変だ」、「作業場所の暗い所は照度を確保すること」、「(危険などを感じる)ヒヤリ・ハットの体験は安全対策にどう反映されているのか」等の意見が出ました。



取材を受ける礒部局長